

## 地域再生計画

### 1 地域再生計画の名称

第2期白浜町まち・ひと・しごと創生推進計画

### 2 地域再生計画の作成主体の名称

和歌山県西牟婁郡白浜町

### 3 地域再生計画の区域

和歌山県西牟婁郡白浜町の全域

### 4 地域再生計画の目標

本町の総人口は1975年の26,617人をピークに減少傾向となっており、2020年の国勢調査は20,262人となっている。なお、住民基本台帳によると、2025年には19,432人となっている。国立社会保障・人口問題研究所による推計では、2050年の総人口は12,807人にまで減少する見込みである。

年齢3区分別人口については、年少人口、生産年齢人口に加え、これまで増加傾向にあった老年人口も減少に転じており、全世代において人口減少が進行する局面を迎えており、2025年では、年少人口1,576人、生産年齢人口10,247人、老年人口7,609人となっている。

社会動態については、特に若年層の進学・就職に伴う転出を、それ以上の世代の転入でカバーできていない現状があり、結果として人口減少につながっている。2025年では転出数790人、転入数803人で11人の社会増となっている。なお、男女別年齢別純移動数をみると、2020年から2025年にかけて、10～14歳→15～19歳及び15～19歳→20～24歳の純移動数が、それぞれ▲44人、▲118人となっている。

合計特殊出生率は2017年までは1.5程度で推移したが、2021年には1.35となっている。人口置換水準はもとより、国民の希望出生率にも届いておらず、2020年では出生数50人、死亡数397人で235人の自然減となっている。このまま人口減少が加速すると、労働力の低下や地域の担い手減少といった課題が生じる恐れ

がある。

上記の課題に対応するためには、人口減少における自然要因・社会要因の両方につながる若年層の転出に歯止めをかけるとともに、若年層に選ばれるまちづくりを進めていくことが求められている。

若年に選ばれるまちづくりとするために、まず、本町の経済活動の主軸を成す観光産業を振興し、「しごと」の創出を図るとともに、先端技術を取り入れた「まち」の形成を図り、農林水産業の地場産業の振興による「しごと」の創出を引き続き推進する。

さらに産業振興により「しごと」を増やすことで、若者に選ばれ、若者が本町にとどまり、戻ってこられる環境づくりとともに、若者が安心して子どもを産み育てられる環境づくりを進める。そのことにより、本町で「ひと」が生まれ、同時に「ひと」を呼び込む。あわせて、「ひと」を呼び込むために「しごと」の創出だけでなく、安心・安全で快適な暮らしを営むことができる、魅力あふれる「まち」を形成する。

これらの取り組みを一体的に進めることにより、白浜町ならではの「まち」「ひと」「しごと」の好循環を確立し、本町の持続的な発展につなげる。

また、持続可能なまちづくりや地域活性化に向けて取り組みを推進するにあたって、SDGsの理念に沿って進めることにより、施策をより効果的に推進していく。

本町の人口減少に歯止めをかけながら、持続的な発展につなげるため、本計画において、5つの基本目標を設定し、戦略を推進していく。

- ・基本目標1 「白浜ブランド」の向上・創出
- ・基本目標2 白浜町の特徴を活かした雇用の創出
- ・基本目標3 若者がまちにとどまり、戻ってこられる環境づくり
- ・基本目標4 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり
- ・基本目標5 安心・安全で快適な暮らしの確保

## 【数値目標】

5-2の ①に掲げ	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2030年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略

る事業				の基本目標
ア	観光入込客数	3,184,528人	3,500,000人	基本目標1
イ	白浜町の総生産額	717億円	789億円	基本目標2
ウ	直近5年間の転入超過累計	133人	150人	基本目標3
エ	合計特殊出生率	1.35	1.35	基本目標4
オ	介護予防活動グループ数	8グループ	10グループ	基本目標5

## 5 地域再生を図るために行う事業

### 5-1 全体の概要

5-2のとおり。

### 5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

#### ① 事業の名称

白浜町まち・ひと・しごと創生推進事業

- ア 「白浜ブランド」の向上・創出事業
- イ 白浜町の特徴を活かした雇用の創出事業
- ウ 若者がまちにとどまり、戻ってこられる環境づくり事業
- エ 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり事業
- オ 安心・安全で快適な暮らしの確保事業

#### ② 事業の内容

##### ア 「白浜ブランド」の向上・創出事業

一社）南紀白浜観光協会との連携による観光振興の推進等の総合的な観光プロモーションの実施、観光スポットや散策路の整備や民泊を中心とした体験型観光の強化やスポーツ合宿の誘致の推進等による観光資源の創出・活用、また国内外への観光情報の発信強化、観光ネットワークの形成・連携など白浜ブランドの更なる向上とともに新たなブランド力

を創出する事業。

**【具体的な事業】**

- ・総合的な観光プロモーションの実施
- ・観光資源の創出・活用
- ・観光情報の発信強化 等

**イ 白浜町の特徴を活かした雇用の創出事業**

農林水産業の生産性の向上と経営の安定化を図り、担い手の育成・確保に向けた取り組み、地場産業の振興支援やホテル・旅館や IT 関連企業の誘致、新規産業の起業・創業支援やワーケーション施設を中心とした関係人口の創出、拡大、多様な業種・主体の連携や6次産業化の推進等により産業全体の活性化を図ることで、町内雇用の拡大に取り組む事業。

**【具体的な事業】**

- ・担い手の育成・確保
- ・地場産業の振興 等

**ウ 若者がまちにとどまり、戻ってこられる環境づくり事業**

県との連携による移住セミナーや相談会などのイベントや様々な媒体を活用し都市部への情報発信による移住、定住の推進、移住者向けの住宅確保のため空き家の活用の他、ホームページでの求人情報の提供など、本町への I・J・U ターンを促進するための雇用促進事業。

**【具体的な事業】**

- ・移住・定住の促進
- ・空き家の活用 等

**エ 安心して子どもを産み、育てられる環境づくり事業**

出生率の維持、向上につなげるため、若者の定住のための婚活イベントの開催などの出会い・結婚の支援や、結婚から妊娠・出産・子育てへの一貫した支援の充実、子どもの個性や能力を活かした教育や地域への愛着を醸成する体験型学習を進めるなどの教育の充実等、若者ファミリ

一層が住みやすく、町内で子供を産み、子育てしやすい環境づくりに資する事業。

**【具体的な事業】**

- ・妊娠・出産に関する支援の充実
- ・子育て支援の充実
- ・先端技術を活用したプログラミング教育 等

**オ 安心・安全で快適な暮らしの確保事業**

災害時における住民の安全を確保するため、住民の防災意識の向上を図り災害への備えの強化や、防犯カメラの設置や防犯パトロールなど防犯活動の推進などによる日常の安全確保、高齢者や障害のある人が地域で安心して暮らせるよう地域共生社会の実現に向けた環境づくりのほか、住民のまちづくりへの参画の推進、公共インフラの維持・充実や交通ネットワークなどの充実を図り、安心安全で快適に暮らせる環境整備のための事業。

**【具体的な事業】**

- ・防災対策の充実
- ・日常の安全の確保 等

※なお、詳細は第3次白浜町まち・ひと・しごと創生総合戦略のとおり

**③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））**

4の【数値目標】に同じ。

**④ 寄附の金額の目安**

550,000千円（2026年度～2030年度累計）

**⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年6月に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに白浜町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで

6 計画期間

2026年4月1日から2031年3月31日まで